

# 夢のかけ橋

子供たちを明るい将来へと導くために ~学校・保護者・地域が手を取り合って~

5月号

平成30年5月31日

六ツ美西部小学校長

小田 英宣

## アイデアが道を切り拓く!

出張や行事、そして腰痛がない限り、朝、一番遠くから通学してくる子供たちの様子を見に行くようにしている。そのついでに、道路に捨てられたごみを拾うようにしている。ある子が「ごみの中で一番多いのは何?」と聞いてきた。一番はいつも変わらない。それは、「タバコ」である。多い日は100本ほど拾うこともある。1年間に、世界で捨てられるタバコは、5兆本とも言われている。毎日、100本拾っても焼け石に水なのか……。

タバコごみの中には、様々な公害を生み出してきたヒ素、カドミウム、ニッケル、銅、亜鉛、マンガンなどの重金属が含まれているそうだ。タバコごみが大地や海水を汚染して、動植物の生態をむしばんでいるという話もある。

そんな中、イギリスでタバコごみを減らす取り組みが行われた。投票箱のような2つの大きな吸い殻入れを用意して、「世界で最高のサッカープレイヤーと言ったら、ロナウド? メッシ?」などと、タバコごみで様々な投票を行ったという。人々の関心あるトピックスが週替わりで登場し、タバコごみ投票を行っている。その効果は、写真の通り絶大なものに。

ちょっとしたアイデアが、よりよい生活環境を生む。子供たちに、こんな発想力を身に付けさせたいと思う。この力が、子供が自分の道を切り拓く大切なものとなる。

しかし、子供たちの成長を期待する前に、美しい振る舞いをする大人の姿を見せることが先であろう。



## 運動会後の姿が楽しみに

地域の方に、そして保護者の皆様に支えられ、第22回の運動会を無事に終えることができた。運動会前の子供たちの欠席数が少なかったことから、それぞれの家庭において、本番だけでなく、練習の段階から子供たちを支えていただけたことを強く感じている。

運動会には、卒業生も多く足を運んでくれた。その子たちに声をかけると、「組み立てを見に来ました」という声を多く聞いた。小学生時代に、プライドをもって取り組んだことに関心が向くのは、当たり前のことだろう。そして今年の高学年も、心をひとつにして、卒業生に負けない演技をしてくれた。毎年、その組み立てを見て、「感動しました」と言う声をいただく。私も同じように感動をもらっている。

今年の運動会では、リレーをする子供たちの姿にも感動を覚えた。大きく離されても、走るのが苦手でも、最後にゴールをしても、全力で走り切る姿が、私の心に深く刻まれた。こうした姿勢もまた、あらゆる困難をチャンスとして、自ら道を切り拓いていく力を身に付けていくことにつながるだろう。運動会での学びを、自分の生活の中で生かす子供たちの姿を、皆で見守りたい。

